

亀田西小学校

亀田製菓

1946年創業の「新潟県亀田郷農民組合委託加工所」が前身。1957年に亀田製菓となる。ピーナツ入りの「柿の種」を初めて販売。国内で販売されている商品は200種以上。海岸進出にも積極的で、ベトナムやタイに工場をもち、世界各国で販売している。

田んぼの先生から教わりながら、1年間自分たちの手で稲作をしました。米作りには「八十八」の手間がかかります。



belco（粟山米業）さんのやっているせんべい王国にも行きました。最近では、アイドルグループがCMをやっていることを知りました。



亀田製菓さんから新製品を提案するチャンスをもらいました。4学級から合計8つの製品案を出し、亀田製菓の担当の方の前でプレゼンしました。合言葉は、「目指せ！お菓子総選挙優勝」です。

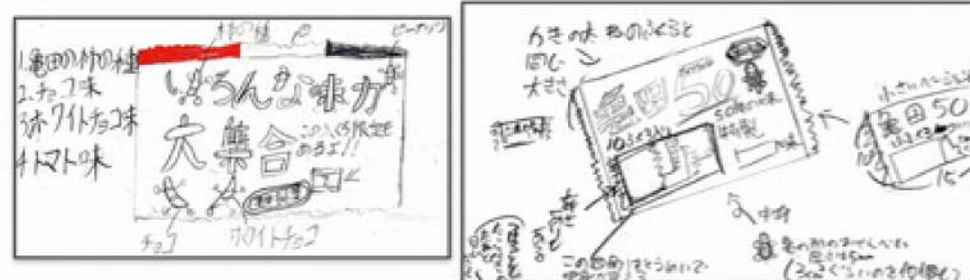
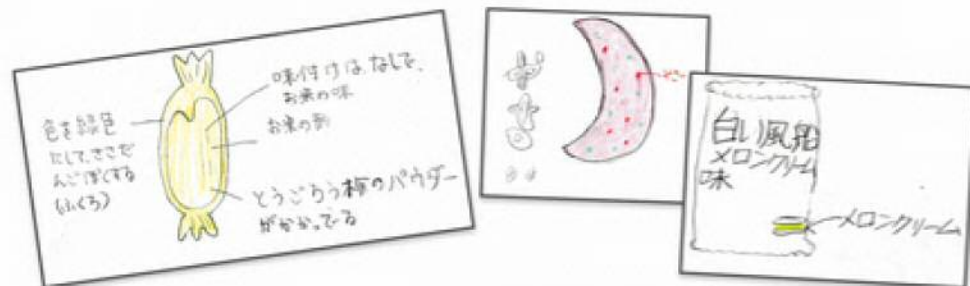


食にかかわる問題について考えました。新潟市は農業だけでなく米粉製品やおせんべいでお米のよさを全国にアピールしていることを知りました。

お米の学習から発展し、
亀田製菓さんとコラボして
新製品を考える活動をしました。
さて、どんなお菓子ができたかな？



亀田製菓さんを見学に行き、おせんべいづくりの工夫や秘密、そして、おいしいお菓子をたくさんおみやげにもらってきました。



- | | |
|--------------------|-------|
| ①ほっほ焼き味柿の種 (1組) | → 32票 |
| ②自分で作る柿の種 (1組) | → 51票 |
| ③てりやき味ハッピーターン (2組) | → 33票 |
| ④からあげ味柿の種 (2組) | → 27票 |
| ⑤白い風船メロンクリーム味 (3組) | → 82票 |
| ⑥亀田のいいことどり (3組) | → 40票 |
| ⑦南国子味柿の種 (4組) | → 25票 |
| ⑧ガーリック味柿の種 (4組) | → 51票 |

プレゼン後の投票の結果を受けて、1か月後に3つの試作品が学校に届けられました。それを食べながら、「こうなるといいな」という思いや願いが実際の形になることの喜びと、「子どもの発想から学ぶ」という亀田製菓さんの創造的な商品開発への姿勢を強く感じました。

これからの未来を創る子どもたちが、伸び伸びと学んだり生活したりできる素晴らしい環境とそれを支える人たちが住むこの亀田地域に、みなさんぜひとも遊びにきてください。

● 子どもの声 ●



まさか自分の考えたお菓子が実現するとは思わなかった。亀田製菓さんのお菓子作りの技術や、いろいろな考えを取り入れていることが本当にすごいと思いました。この学習をしてから、お店で売っているお菓子を食べても、作っている人の苦労や思いを考えるようになりました。



米作りでお世話になった村山さんも、亀田製菓の人たちも、とてもやさしくて、いつもぼくたちの希望や考えを優先してくれて、本当にうれしかったです。もともと好きな亀田だったけど、今年の総合学習をして、さらに大好きになりました。亀田にはおいしいお米とお菓子と、いい人がたくさんです。